

丘の大地

No.1188

1月号

2023 January



2023年 あけましておめでとう!

すてきな1年になりますように!



新年特集号



年頭の
ごあいさつ

令和5年の年頭にあたり

新年あけましておめでとございます。
組合員の皆さまには、長引くコロナ禍にあってもその苦境に負けず、日々営農に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。次第であります。

与える希望や勇気を再認識したところ
です。

さて、昨年の美瑛町農業は、雪解けも早く、春作業は天候に恵まれ順調にスタートいたしました。6月の低温多雨や日照時間の影響により一部、小麦の倒伏や土壌流亡が発生しましたが、9月以降の収穫期には好天に恵まれ、作柄としては良好な年となりました。

は104%となったところであり
ます。このような実績を残せましたこ
とは、組合員皆さまのご努力はもち
ろん、本町の強靱な農業生産基盤の
底力であると確信しております。

しかしながら、日常生活では、新
型コロナウイルスとの戦いが長期化
し、各農畜産物の消費は依然として
低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の
進行による飼料・肥料をはじめとし
た生産資材の高止まりが農業経営に
与える影響は甚大であり、農家組合
員を苦しめています。

こうした事態を受け、組合員経済
のためには迅速な対応が必要である
との役員総意のもと、農薬や飼料、
営農用灯油等に対してJA独自対策
を昨年5月に講じたところでありま
す。

併せて町行政へも支援を要請し協
議を重ねた結果、肥料・燃料の高騰
に対する次期作支援対策を講じても
らうこととなりました。



代表理事専務
真田 佳則

令和4年は、長期化する新型コロ
ナウイルスやロシアによるウクライ
ナ侵攻をはじめ、知床半島沖で観光
船が沈没し26人が死亡・行方不明と
なるなど暗いニュースばかりが目立
った世界・国内情勢ですが、スポー
ツ界では、2月に行われた北京オリ
ンピックで過去最多18個のメダルを
獲得、サッカーW杯カタール大会で
は、日本代表が強豪国を撃破し、史
上初の2大会連続決勝トーナメント
進出を果たすなど、明るい話題が紙
面を賑わせ、改めてスポーツが人に



代表理事組合長
熊谷 留夫

謹んで新春のお慶びを申し上げます



- ◆代表理事組合長 熊谷 留夫
- ◆代表理事専務 真田 佳則
- ◆常務理事（学識経験者） 渡辺 和也
- ◆理事
（総務委員長・農家経済対策特別委員） 村上 聡和
- ◆理事
（業務委員長・農家経済対策特別委員） 江花 秀一
- ◆理事
（総務副委員長・農家経済対策特別委員） 山田 剛
- ◆理事
（業務副委員長・農家経済対策特別委員） 米田 浩幸
- ◆理事
（農家経済対策特別委員長・業務委員） 吉井 鉄也
- ◆理事
（農家経済対策特別副委員長・総務委員） 青嶋 秀雄
- ◆理事（総務委員） 野村浩太郎
- ◆理事（総務委員） 佐藤 仁昭
- ◆理事（業務委員） 下司 和広
- ◆理事（業務委員） 岡田 直和
- ◆理事（学識経験者/信用担当） 中村 紀之
- ◆代表監事 太田 満
- ◆常勤監事（員外監事） 宮崎 俊章
- ◆監事 林 大祐
- ◆監事 白川 徳明
- ◆監事 天草 千晶
- 外職員一同

今年第30回JA北海道大会の実践2年目となります。決議された将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

組合員・JA・連合会・中央会が各々の役割を再認識するとともに、JAグループ北海道が一体となつて、しっかりと「対話」を行い、経営基盤を強化していくことが社会からの要請に応えることにもなり、今一度、協同組合運動の原点に立ち返り、相

互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせてこの難局を乗り越える必要があります。

当JAといたしましても、コロナ禍の制限等もありますが、町内の中学生を対象としたレストランアスぺルジュでのテーブルマナー講習や、学校給食への「美瑛米」、「ゆめちから食パン」の贈呈、青年部・女性部・フレッシュユミセス会による町内の子どもたちへの農業体験や食育活動を通じて協同組合の輪を広め、「対話」を実践することにより、変化の波をJA運営に取り込んでいく

ことが必要であり、組合員・役員が丸となつてしっかりと取り組んでいくことが重要となります。

そうした意味からも、私たち農業者が取り組むべきことは、今も、そしてこれからも「安全」で「安心」な食料を、誇りをもって国民に供給し続けることだと考えます。

このことを肝に銘じ、組合員の皆さまと共に信頼されるJAをめざし、より魅力的で効果的な事業運営を行ってまいりますので、本年につきましてもご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年の干支は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。このいわれにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と組合員ご家族皆さまのご健勝をご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

トピックス JAこの一年

「農業の使命」に向き合い続ける

令和4年は、依然として新型コロナウイルスが猛威を振るう中、「With コロナ」の時代として、少しずつコロナ禍以前の活気を取り戻しつつもある、そんな一年でした。めまぐるしく農業を取り巻く環境が変化していく中で、肥料や飼料、農業資材の高騰や、回復しきらない農畜産物の需要など、いくつもの暗いニュースが目立ちます。しかし、そのような情勢の中でも、JAグループとしては「国産国産」を基軸とした消費者への働きかけを続け、食料安全保障への関心を高めるべく活動を行っています。消費者へ安全・安心でおいしい農畜産物を届ける「農業の使命」に向き合い続けた当JAの1年間の活動を振り返ります。



1/17 青年部冬期研修会



3/7 令和3年度ビエイティフル認定証授与式



2022年の動き 事業活動を振り返って

1月

- 6日 仕事始め
- 6日 新年特別朝会
- 6日 豊穰・安全祈願祭
- 17日 青年部冬期研修会
- 26日 とまと生産部会定期総会※書面決議
- 26日 女性部全体研修会

2月

- 9日 麦作生産部会定期総会※書面決議
- 10日 メロン生産部会定期総会※書面決議
- 14日 豆作生産部会定期総会※書面決議
- 15日 種子馬鈴薯生産組合定期総会※書面決議
- 15日 馬鈴薯生産部会定期評議員会
- 16日 ※書面決議
- 16日 白金アスパラガス生産部会定期総会※書面決議
- 18日 ※書面決議
- 24日 ブロッコリー生産部会定期総会※書面決議
- 25日 稲作生産部会定期総会※書面決議
- 25日 ニンジン生産部会定期総会※書面決議

3月

- 7日 令和3年度ビエイティフル認定証授与式
- 8日 百合根生産部会定期総会※書面決議
- 9日 第67回地区懇談会



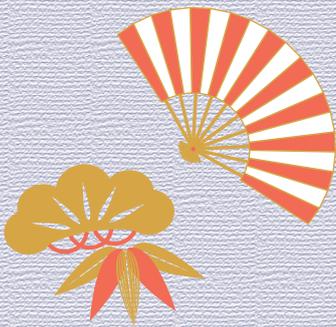
4/6 第71回通常総代会



3/9~3/10 第67回地区懇談会



5/25~26 畑作3部会現地研修会



7/8 美瑛小麦フォーラム



6/10 獣魂祭

酪農振興部会牛乳贈答券贈呈
 新農業人研修修了証書授与式
 麦作生産部会栽培講習会
 25日 24日 22日

4月

朝会／新規採用辞令交付
 豆採種生産部会定期総会※書面決議
 第71回通常総代会
 酪農振興部会定期総会
 年金友の会定期総会※書面決議
 共済広域推進決起大会
 美瑛町乳牛検定組合定期総会
 美瑛町酪農ヘルパー利用組合定期総会
 26日 26日 25日 8日 8日 6日 1日 1日

5月

JA共済優績組合表彰
 畑作3部会現地研修会
 上川生産連穀類種子調製施設竣工式
 共済一斉推進出陣式
 25日 26日 18日 30日 30日

6月

獣魂祭
 報徳社山林整備・青空常会
 21日 10日

7月

とまと生産部会消流懇談会
 美瑛小麦フォーラム
 穀類乾燥調製貯蔵施設安全祈願祭
 ライスセンター受入式
 美瑛神社例大祭・御幸式
 8日 5日 25日 15日 14日 13日 8日 5日



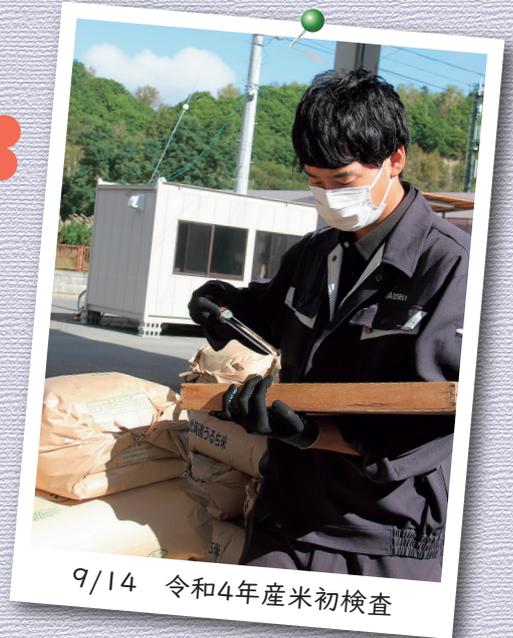
10/28 第32回臨時総代会



8/20 どかんと農業まつり



11/22 学校給食 美瑛米・食パン贈呈式



9/14 令和4年産米初検査



12/7 集落代表者研修会



8月	どかんと農業まつり	20日
	加工馬鈴薯コントラ協議会出陣式	22日
9月	第17回JAびえいOB組合長林パークゴルフ大会	13日
	令和4年産米初検査	14日
10月	第15回JAびえいパークゴルフ大会	1日
	固定資産取得に向けた組合員事前説明会	14日
	美瑛中学生テーブルマナー講習	18日・20日・28日
	本所避難訓練	27日
	第32回臨時総代会	28日
11月	役員道外研修	7日～11日
	農業機械早期予約展示会	8日
	農協法公布記念朝会	8日
	組合員宅一日一斉皆訪問	18日
	学校給食 美瑛米・食パン贈呈式	21日
	新嘗祭	23日
12月	第48回集落代表者研修会	7日
	新農業人激励の集い	9日
	美瑛町へ鏡餅謹呈	28日
	仕事納め	30日

本年もよろしく
お願いいたします

支 所 長
鹿 野 理

地域第一係長
木 村 篤

地域第二係長
辻 英 敏

専門主任
佐 藤 誠 一

専門主任
小笠原 史 子

専門普及指導員
堀 田 ひとみ

専門普及指導員
田 中 伸 尚

普及指導員
藤 本 周

専門普及職員
京 極 竜之助

普及職員
井 口 希

主 事
石 川 みなみ

(敬称略)

年頭のごあいさつ



変化する農業情勢に対応 できる地域づくりをめざして

上川農業改良普及センター大雪山支所

支 所 長 鹿 野 理

新年あけましておめでとうござい
ます。組合員の皆さまにおかれま
しては、新たな気持ちで輝かしい初春
をお迎えのことと心よりお慶び申し
上げます。日頃より、農業改良普及
事業の推進に当たりまして、農業者、
関係機関の皆さまから深いご理解と
ご協力を賜り、感謝を申し上げます。
令和4年の作柄を振り返りますと、
美瑛町の融雪期は平年に比べ、3日
早い4月5日となり、温暖な春を迎
えて耕起・は種作業が進みました。
4月から10月までの農耕期間積算で
は、平年に比べ平均気温は7%高く、
日照時間は8%多く、降水量が12%
多い年となりました。
高温少雨傾向の令和3年と比較す
ると、小麦収量にやや物足りなさを
感じましたが、他の作物では概ね平
年並み以上の収量確保となりました。
これは、気象変動に対応した肥培管
理や病害虫対応など、基本技術に基
づいた、きめ細やかな栽培管理が結
果につながったものと、改めて敬意
を表すところでです。

現在、コロナ禍やウクライナ問題
などによる社会・世界経済の混乱に
加え、肥料原料やエネルギー価格の
高騰など、農業経営を取り巻く環境
は厳しさを増しており、地球温暖化
や度重なる異常気象による災害発生
など気象条件も大きく変化していま
す。農業分野においては、農家戸数
の減少や高齢化による担い手不足、
地域コミュニティの衰退、さらには、
新型コロナウイルスの衰退、さらには、
変化などさまざまな課題を抱えて
います。
北海道は我が国最大の食糧供給地
域であり、社会情勢に合わせた農業
振興を図るための、持続的な生産や
消費拡大等の検討が求められていま
す。既に諸外国では環境や健康に関
する戦略を策定する動きが見られ始
めており、SDGsや環境負荷軽減
を重視する国内外の動きが加速して
いくと見込まれる中、農業分野にお
いても持続可能なシステム構築が急
務となつています。
そのような情勢の中、農業の省力

化を実現する自動操舵やドローンの
活用、施設園芸の環境制御システム
など、先進的なICT技術導入によ
る農業変革が動き出しています。普
及センターの重点普及活動地区にお
いても、地区の方々と衛星リモート
センシング技術を試行し、スマホや
タブレットによるほ場の可視化、肥
培管理や収穫判定での実用化に向け
継続検討しているところです。
担い手関係では、青年農業者グル
ープ「大雪山麓倶楽部」の精鋭メン
バーが、自ら小麦栽培技術の地域課
題に熱心に取り組む姿から、次世代
を担う後継者達の奮闘を頼もしく思
います。さらに、農業部門外から担
い手を確保する新規就農支援体制、
農福連携推進なども精力的に進めら
れ、美瑛町の担い手育成に対する取
り組みに確かな将来性を感じていま
す。
今後も目まぐるしく変化する社会
情勢に対応すべく、「足腰の強い農
業」をめざすことで、地域全体がま
すます活性化され、発展することに
期待します。そのためにも、普及セ
ンターでは変革する農業情勢を捉ま
え、明るい話題を地域から発信でき
るよう、農業者の皆さまおよび関係
機関と一体となり、地域課題解決に
向け取り組む所存ですので、今後も
一層のお力添えを賜りますよう、よ
ろしくお願い申し上げます。
本年が皆さまにとりまして健康で
希望に満ちた良き年となり、豊穡の
秋となりますことを心よりご祈念申
し上げ、年頭のご挨拶といたします。



営農ガイド

上川農業改良 普及センター大雪支所

EINOU GUIDE

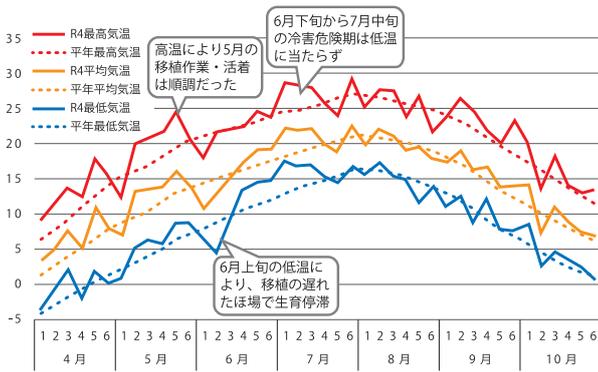


図1 4月から10月にかけての気温の推移

昨年（2023年）の美瑛町の融雪期は平年より3日早い4月5日となりました。それに伴い、本田耕起作業も平年に比べ5日早くなりました。

春先の天候に恵まれ
は種・移植作業は順調に



水
稲

令和4年の
生育を顧みて

6月上旬に低温が続いたため（図1）、移植が遅れたほ場を中心に葉の退色や生育の停滞が見られました。既に活着して

6月上旬の低温が生育に影響

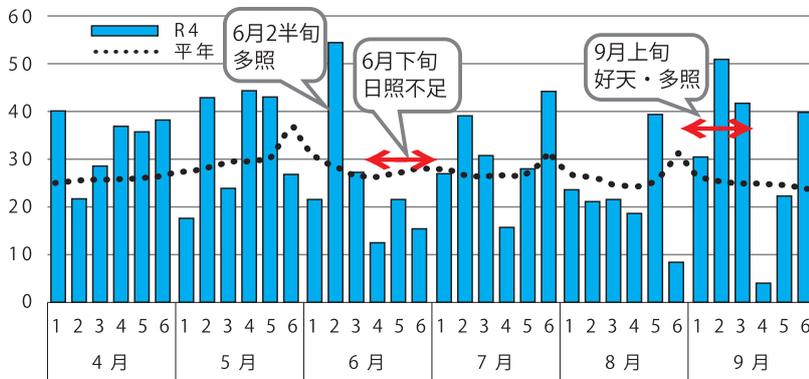


図2 4月から9月にかけての日照時間の推移

温湯消毒済種子の受け渡しは3月26日から始まり、順次予措作業・育苗ハウス準備が開始されました。育苗期間中は5月1半旬を除いて気温が高く推移し（図1）、育苗段階の葉齢は平年よりも進みました。生育が進んだ状態で苗が移植されたため、分けつ始は平年に比べ3日早まりました。

茎数は7月1日調査の時点で最大となり（図3）、穂数は平年比106%となりました。そのため、一穂粒数と稔実歩合はほぼ平年並だったものの、m当粒数及びm当稔実粒数が平年比107%と多い傾向になり、坪刈り調査における収量（精玄米重）は平年比103%となりました。穂数の確保によりm当稔実粒数が

低タンパク米出荷率高い年に

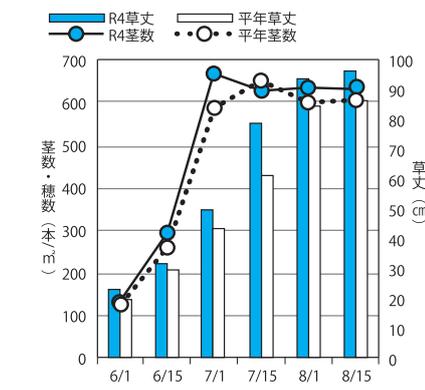


図3 草丈と茎数の推移
（大雪支所管内作況調査ほ 成苗ななつぼし）

6月下旬から7月中旬にかけて気温が高く推移し（図1）、冷害危険期も低温に遭つことはありませんでした。生育期間を通して草丈は平年より長くなりました（図3）。

幼穂形成期から止葉期に高温

いたほ場では、草丈の伸張は鈍化したものの、日照時間が確保されたため（図2）、分けつは順調に進みました。6月下旬は日照が不足したものの気温は高く推移し（図1、2）、生育が停滞したほ場の生育にも回復が見られました。

表1 収量構成要素
 （大雪支所管内作況調査ほ 成苗ななつぼし）

	穂数 (本/m ²)	1穂粒数 (粒)	m ² 当粒数 (粒/m ²)	稔実歩合 (%)	m ² 当稔実 粒数 (粒/m ²)	精玄米重 (kg/10a)	屑米重 (kg/10a)	千粒重 (g)
R4	636.1	57.3	36.431	96.5	35.143	672.6	23.0	23.7
平年	601.9	56.3	34.012	96.3	32.754	651.0	28.2	22.8
平年比(%)	106%	102%	107%	100%	107%	103%	81%	104%

多くなったこと、千粒重が重くなったことにより、収量確保に繋がりました。
 （表1）
 タンパクは低い傾向が見られ、ななつぼしの低タンパク米出荷率は87%と高くなりました。要因として、①m²当粒数が多いこと、②9月の好天により登熟が順調に進み、籾へのデンプン転流が十分に進んだことが挙げられます。

畑作

昨年3月の平均気温は平年より2℃高く、順調に雪解けは進み、融雪期は平年より3日早く、積雪期間は17日短くなりました（表1）。

表1 美瑛町の根雪始・融雪期

項目	根雪始	融雪期	積雪期間
R4	12月13日	4月5日	113
平年	11月28日	4月7日	130
遅速	遅15日	早2日	短17日

1 秋まき小麦
（1）令和4年産小麦の作柄（図1）
 昨年の小麦は、品種によって作柄の様相は異なりました。
 トラックスケールでは、「きたほなみ」「ゆめちから」の粗原収量は同水準（581kg/10a）でしたが、「きたほなみ」は細麦気味で、製品収量は「ゆめちから」に劣りました。「春よ恋」の製品収量は概ね6俵（293kg/10a）でした。
 多収だった令和元年以降、「ゆめちから」は、比較的高い収量を維持しているのに対して、「きたほなみ」「春よ恋」は収量の落ち込みが見られます。特に

農耕期間（4月）の積算平均気温は3.104℃（平年比107%）、日照時間は1,191時間（同108%）、降水量は763mm（同112%）といずれも平年を上回りました。

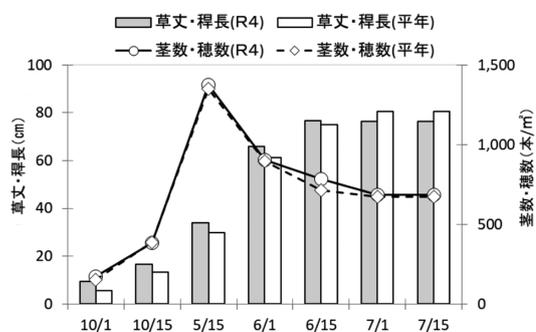


図2 きたほなみの生育経過

（2）秋まき小麦（きたほなみ）生育経過（表2、図2）
 融雪が早く、その後も気温は高く経過したことから、起生期・幼穂形成期・止葉期は、いずれも平年より4日早くなりました。

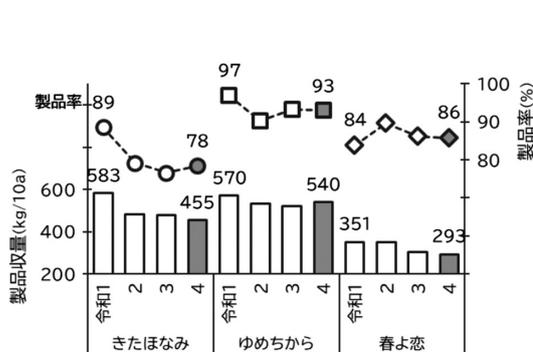


図1 過去4年の収量・製品率の推移（JAトラックスケールデータより）

「きたほなみ」は、低い製品率が、低収の要因となっています。

ました。出穂寸前の6月初旬、最低気温5℃未満の低温・寡照な天候が10日間ほど続き、出穂の停滞や不揃いの原因となりました。出穂期は概ね平年並でした。出穂期から成熟期までの登熟期間中、日中の気温や最低気温（夜温）は総じて高く、生育は前進し、成熟期は平年より3日早くなりました。収穫期間中は、まとまった降雨に作業を中断しながら、平年より2日早い収穫終となりました。
 前年越冬前に十分な生育量を確保し、雪腐病や冬損による減耗もなかったため、茎数は期間を通じて平年を上回りました。草丈は平年より長かったものの、稈長はやや短くなりました。最終的な穂数はほぼ平年並でした。

表2 秋まき小麦（きたほなみ）の生育期節・農作業

項目	生育期節						農作業期		
	起生期	幼穂形成期	止葉期	出穂期	乳熟期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終
R4	4月10日	5月3日	5月23日	6月5日	6月26日	7月16日	7月21日	7月26日	7月30日
平年	4月12日	5月7日	5月27日	6月6日	6月29日	7月19日	7月23日	7月26日	8月1日
遅速	早4日	早4日	早4日	早1日	早3日	早3日	早2日	±0	早2日

出穂から成熟までの登熟日数は平年より2日短くなりました（昨年41日、平年43日）。

(3) 病害虫の発生状況

前年秋、薬剤散布後の降水量は多く、薬剤成分の流亡が懸念されましたが、雪腐病による被害は平年より少なくなりました。

抵抗性をもたない「きたほなみ」の縞萎縮病（写真1）や、品種を問わず眼紋病の発生が目立ちました。いずれも小麦の連作や過作が病原菌密度を高める土壌病害です。縞萎縮病は、町内での発生地域拡大が認められ、有効な薬剤の適正使用後に、眼紋病を発病した事例も見られました。

出穂以降は多雨湿潤だったことから、赤かび病の好適条件となりました。調製後の小麦に赤かび病感染粒の混入はありますが、ほ場では発病穂が例年に比べ多く見られました。



写真1 縞萎縮病感染株
（激しい萎縮と葉身の黄化）

(4) 作況ほの収量構成要素と要因

穂数や千粒重は平年並ですが、一穂粒数はやや少なく、子実重は平年を下回り

ました（表3）。

トラックスケールデータを多収だった令和元年と比較すると、「きたほなみ」「ゆめちから」ともに、減収した生産者の9割に共通して容積重の低下が見られました（図3）。収量の維持・向上に、容積重を低下させない細麦にならない肥培管理が有

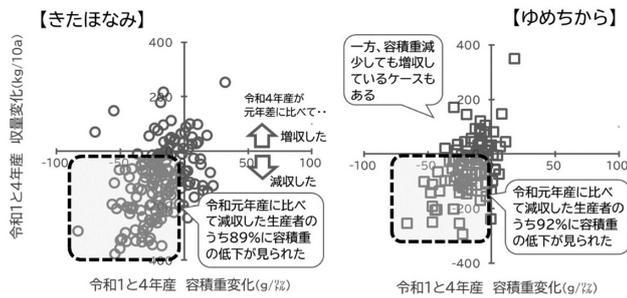


図3 令和元年と比較した収量・容積重変化の関係
（きたほなみ・ゆめちから）

表3 秋まき小麦（きたほなみ）の収量構成要素（普及センター作況調査）

項目	m ² 当り穂数(本)	1穂粒数(粒/穂)	千粒重(g)	子実重(kg/10a)	容積重(g/l)	蛋白含有率(%)
R4	686	27.2	39.9	744	827	12.0
平年	674	28.5	40.2	801	833	11.8
平年比(%)	102	95	99	93	99	+0.2pt

※1穂粒数・千粒重2.2mm網上

効と考えられました。

昨年は、病害だけでなく、6月末の降雨をきっかけに生じた早期倒伏も健全な子実肥大を妨げたと推察されます（写真2）。

土づくり、適正輪作とともに、肥培管理の再点検や基本技術の励行に努めてください。



写真2 6月末に早期倒伏を生じた
（眼紋病発病で倒伏は助長された）

(5) ゆめちからの子実タンパク

ここ数年低下傾向にありました。ゆめちからの子実タンパクは、タンパク16.1~18.0%の生産者数が増加し（図4）、トラックスケール平均タンパクは15.2%と前年より0.2ポイント上昇しました。

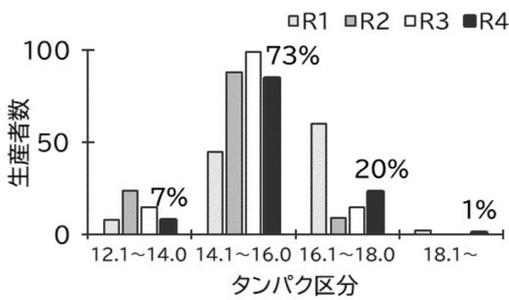


図4 ゆめちからのタンパク階層分布
（過去4ヶ年）

(6) 令和5年産秋まき小麦の生育状況

(表4)

昨年の秋は少雨で、は種作業は平年より早く終わりました。

乾燥土壌では、出芽遅延や出芽むらを生じましたが、降雨後に回復しました。一部傾斜地では、強雨後の種子流亡も認められますが、地域全体では、越冬前の生育は順調でした。

表4 令和5年産秋まき小麦のは種作業・出芽期

項目	は種始	は種期	は種終	出芽期
R4	9月5日	9月11日	9月18日	9月23日
平年	9月7日	9月14日	9月26日	9月25日
遅速	早2日	早3日	早8日	早2日

※は種作業・出芽期は、きたほなみ・ゆめちからの両方を対象とした

2 春まき小麦（春よ恋）

(1) 生育経過（表5、図5）

融雪後、ほ場の乾燥は進み、平年より早くは種期、出芽期を迎えました。その後、適度な温度と降雨に恵まれ、生育は順調に進みましたが、6月上旬の低温下で生育は一時的に停滞し、止葉期および出穂期はほぼ平年並となりました。

出穂以降の気温は高く、生育が促されたことから、乳熟期、成熟期は平年に比べ3~4日早まりました。登熟日数は平年より3日短い39日でした。

秋まき小麦と同様に、降雨の合間を縫っての収穫となりました。子実水分の低下は進み、ほ場での倒伏も限られたことから、収穫作業は順調に進み、収穫終は

表5 春まき小麦の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節					農作業期		
	は種始	は種期	は種終	出芽期	止葉期	出穂期	乳熟期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫期
R4	4月12日	4月17日	4月24日	4月29日	6月9日	6月19日	7月8日	7月28日	8月2日	8月4日	8月6日
平年	4月15日	4月19日	4月27日	5月3日	6月10日	6月20日	7月11日	8月1日	8月4日	8月6日	8月9日
遅速	早3日	早2日	早3日	早4日	早1日	遅1日	早3日	早4日	早2日	早2日	早3日

平年より3日早くまりました。生育前半は適度な気候に恵まれ生育はやや旺盛となりました。茎数は平年を上



写真3 うどんこ病発病後の穂数不足の例
 6月15日茎数863本/m²（平年比120%）
 →成熟期穂数360本/m²（同63%）

(2) 病害虫の発生状況
 生育旺盛、乾燥した期間もあったこと

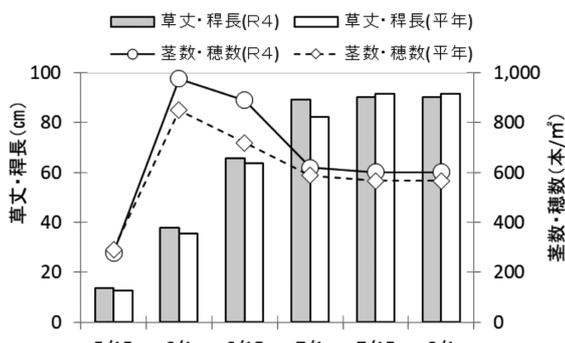


図5 春まき小麦の生育経過

回り、草丈は平年よりやや長く、稈長はほぼ平年並でした。一部ほ場では、止葉期までの茎数に対して穂数が少ない（有効茎数の低い）様子が見受けられました。

一部ほ場で観察されたように、茎数に

生育前半の草丈・茎数は、平年を上回り旺盛な生育を示しました。しかし、結果的には収量は平年を下回り、倒伏の発生は例年ほど目立ちませんでした。

表6 春まき小麦の収量構成要素（普及センター作況調査）

項目	m ² 当り穂数(本)	1穂粒数(粒/穂)	千粒重(g)	子実重(kg/10a)	容積重(g/l)	蛋白含有率(%)
R4	602	19.5	39.1	459	837	13.6
平年	566	20.9	41.7	509	833	13.0
平年比(%)	106	93	94	90	100	+0.6pt

※1穂粒数・千粒重2.2mm網上

(3) 作況の収量構成要素、要因
 穂数は平年よりやや多いが、一穂粒数

秋まき小麦同様、赤かび病発病穂がほ場段階で散見されました。被害粒の混入はないものの、気象経過を鑑みた防除が今後重要となります。

3 小豆（しゅまり・きたるまん）
(1) 生育の経過（表7、図7・8）
 融雪期が早く、他品目のは種・植付作業が順調に進んだこと、気温が高く、地温上昇も早かったことから、は種期は2日早く進みました。出芽期はは種後の低温により平年より2日遅れたものの、6月下旬～7月中旬までの夜間の高温で草丈は平年より長く（平年比120%）、葉数も早く進み、開花期は4日早まりました。草丈が長くなったため、一部ほ場では倒伏が発生しました。莢の成熟が早く進んだことから、収穫期で10日早くになりました。病害は、アズキノメイガの被害が一部で見られました。

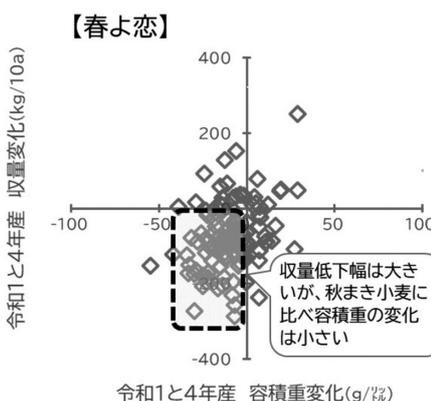


図6 収量増減と容積重の関係（春よ恋）

対して穂数が不足したのは、うどんこ病のような病害や多雨による土壌養分の流亡のほか、日照不足も理由の一つと考えられます。6月下旬の寡照は（日照時間は平年比66%）、主茎に続け分けつ茎の無効化（穂に発達しない）に働いたものと推察されました。

表7 小豆の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節			農作業期		
	は種始	は種期	は種終	出芽期	開花期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫期
R 4	5月19日	5月22日	5月27日	6月9日	7月23日	9月9日	9月14日	9月27日	10月8日
平年	5月20日	5月24日	5月31日	6月7日	7月27日	9月15日	9月23日	10月7日	10月20日
遅速	早1日	早2日	早4日	遅2日	早4日	早6日	早9日	早10日	早12日

8 (2) 作況ほの収量構成要素、要因(表)

m²当たり莢数は平年並でしたが、一莢内粒数・百粒重が平年を上回ったことから、子実重は平年を大きく上回りました(平年比128%)。

これは、平年より葉数や開花期が早く進んだことから、着莢・粒肥大が進んだものと考えられます。

昨年は草丈が平年より長く、倒伏が発生したほ場も多くありました。倒伏が生じないよう適正施肥を行いましょう。

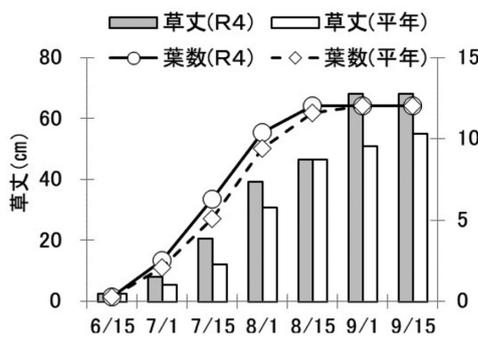


図7 小豆の生育経過

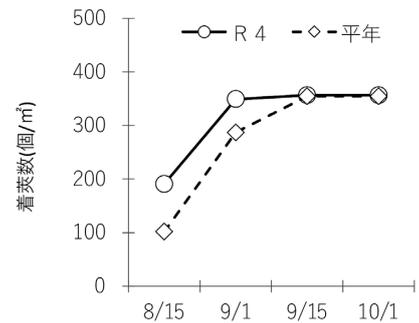


図8 着莢数の推移

4 ばれいしょ(男爵薯)

(1) 生育の経過と病害の発生状況(表9、図9)

融雪が平年より早く進み、融雪後も多照で土壌が早く乾燥したことから、植付期は11日早く、植付終は6日早く、萌芽期は4日早くなりました。萌芽後、6月1〜2半旬に低温で経過したことから、植付期ほど生育期節は早まらず、着蕾期は2日早く、開花期は3日、終花期は2日早くなりました。

地上部生育は、莖数は平年より少なく、草丈は平年よりやや長くなり、6月下旬には多くのほ場で倒伏が発生しました。また、7月は平年より高温多湿で経過したことから、耐病性が弱いトヨシロで軟腐病の発生が多くみられました。

8月中旬に降雨があったため、収穫始

表8 小豆の収量構成要素(普及センター作況調査)

項目	m ² 当莢数(個)	一莢内粒数(粒/莢)	百粒重(g)	子実重(kg/10a)
R 4	357	6.6	13.6	317
平年	355	6.2	12.4	248
平年比(%)	101	106	110	128

表9 ばれいしょの農作業期(全品種)と生育期節(男爵薯)

	農作業期			生育期節					農作業期		
	植付始	植付期	植付終	萌芽期	着蕾期	開花期	終花期	莖葉黄変期	収穫始	収穫期	収穫終
R 4	4月21日	4月26日	5月10日	5月24日	6月12日	6月26日	7月11日	8月3日	8月26日	9月12日	10月4日
平年	4月27日	5月7日	5月16日	5月28日	6月14日	6月29日	7月13日	8月7日	8月24日	9月13日	10月7日
遅速	早6日	早11日	早6日	早4日	早2日	早3日	早2日	早4日	遅2日	早1日	早3日

は2日遅くなりました。その後は晴天に恵まれ、収穫期は1日早く、収穫終は3

多雨であったことから多発生した軟腐病の対策としては、倒伏しないよう多窒素栽培を避け、適正施肥を行うこと、ほ場の排水対策を徹底すること、最高気温

25℃以上が3日続いたら防除を開始すること、オキソリニックの連用を避けることが必要です。町内の多くの地域でそうか病、粉状そうか病、腐敗、緑化が多く発生しました。排水性が悪い場合は、堆肥散布や透排水性改善など、病害の発生対策を実施しましょう。

10 (2) 作況ほの収量構成要素、要因 (表)

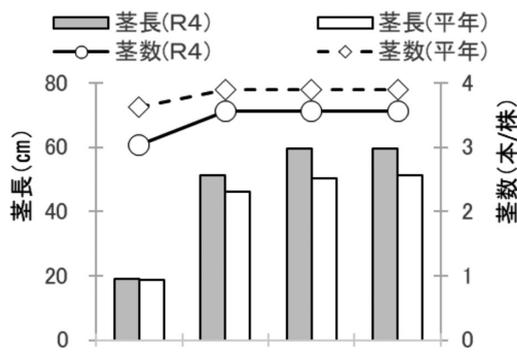


図9 ばれいしょの生育経過

4月末に強い冷え込みと強風が数日続き、移植直後の苗の損傷や枯死を招きました。再移植や多数の補植を強いられるケースも見られました。移植後の活着は良好で、その後、適度な温度と降雨に恵まれました。草丈や葉数、7月以降の根周は、期間を通じて平

は種期、出芽期は平年並でした。前倒しで動き出した春作業に続く形で、移植は平年より5日、移植終は4日早くになりました。

5 てんさい

(1) 作業、生育経過 (表11、図10)

表10 ばれいしょの収量構成要素 (男爵薯・普及センター作況調査)

項目	株当り上いも数 (個/株)	上いも1個重 (g/個)	上いも収量 (kg/10a)	規格内収量 (kg/10a)	でん粉価 (%)
R4	10.9	92	4,514	4,035	14.5
平年	9.8	91	4,047	3,818	14.9
平年比(%)	111	101	112	106	-0.4

表11 てんさい農作業期

	は種期	出芽期	移 植			収 穫		
			始	期	終	始	期	終
R4	3月14日	3月20日	4月25日	5月5日	5月10日	10月2日	10月15日	10月25日
平年	3月15日	3月21日	4月30日	5月6日	5月14日	10月10日	10月19日	10月30日
遅速	早1日	早1日	早5日	早1日	早4日	早8日	早4日	早5日

年を上回って経過しました。ここ数年見られた、少雨乾燥による茎葉の脱水・萎れ、多雨による湿害はほとんど認められませんでした(写真4)。

(2) 病害虫の発生状況

降雨が続く、夜温の高い期間もありましたが、褐斑病の発生はほとんどありませんでした。適切な薬剤散布の実践とともに、主要品種がもつ病害抵抗性の優位性が発揮されました。ヨトウムシ幼虫による茎葉食害やハダニ吸汁に伴う葉身の黄化もごくわずかなものでした。



写真4 初期からの生育良好 (5月末)

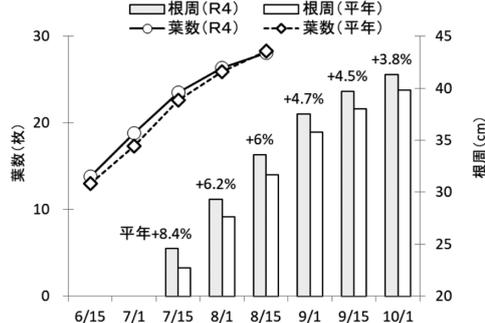


図10 てんさいの生育経過

た。収穫始は平年より8日、収穫終は5日早くになりました。

(3) 収量・糖分 (表12)

根中糖分は平年よりやや低いものの、根重は平年比1割ほど重かったことから、糖収量は平年を上回りました。直播栽培の比率が急速に高まるなか、地域全体の収穫量が過去の最高水準に迫ったことを考慮すると、昨年はいかに豊作だったかを物語ります。

表12 てんさいの収量状況(普及センター作況調査)

年次	根重(kg/10a)	根中糖分(%)	糖量(kg/10a)	茎葉量(kg/10a)	T/R比
R4	8,405	16.0	1,345	6,459	76.8
平年	7,629	16.5	1,264	4,826	62.8
平年比	110	97	106	134	122

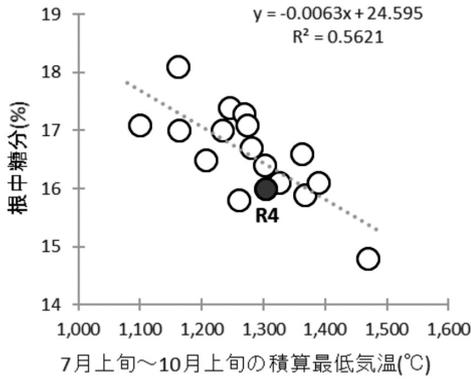


図11 過去20年の積算最低気温と根中糖分

(4) 作柄に影響を及ぼした要因 (図11)
 根重は、春から初夏にかけての最高気温が高いほど重くなる傾向にあります。

昨年は、移植後の天候に恵まれ、病障害等による損耗もなく、根部肥大は促進されたと考えられます。

根中糖分を左右する夏の最低気温は概ね平年並でしたが（7月上旬から10月上旬の積算最低気温1,303℃、過去20年平均1,283℃）、根中糖分は平年を0.5ポイント下回りました。

野菜

やや平年よりも早い融雪を迎え、4月上旬の気温は平年より高めに推移しましたが、5月上旬の気温は低く、各作物で若干の生育遅れとなりました。その後、再び6月上旬から平年より気温は低く推移しました。7月には高温条件で推移し、高温の影響による生理障害が見られました。8月以降はまとまった降雨日の発生が多く、降雨の影響による湿害の発生が散見され、各作物の品質低下を招きました。

春先の低温被害やゲリラ的な降雨、また再び新型コロナウイルスが感染拡大するなど、昨年に続き悩み多い1年となりましたが、各作物では甚大な被害のない1年となりました。

1 トマト

4月下旬に低温があったものの、共選は例年並の5月18日に開始されました。5月下旬からの低温の影響により花落ちが発生し草勢は強めに推移しました。その後は6月中旬からの降雨の影響で多湿となり灰色かび病が発生し、果実品質

が低下しました。7月上旬～中旬にかけては最高気温の高い日が続き、落花、グリーンバック果が散見されました。8月以降の生育は順調でしたが、まとまった降雨日が多く、湿度が高い状況が続きました。9月以降は最高気温と最低気温に大きく差がある日が多く、裂果の発生が見られました。収穫終盤は平年よりも気温が低く着色が停滞し、小玉傾向で推移しました。

病害虫は、6月中旬からの曇天降雨により灰色かび病・葉かび病の発生しが継続しました。また、連作年数が増加しているほ場では土壌病害である褐色根腐病が散見され、太根はコルク化し細根の脱落が見られました（写真1）。アザミウマの加害による白ぶくれ症状の果実も一部見られました。

は種作業は8月上旬収穫の早生作型、晩生作型について順調に進みました。出芽のばらつきも少なく、生育は平年並みに推移しました。早い作型の収穫は、8月中旬より始まりました。



写真1 褐色根腐病 (令和4年10月)

2 スイートコーン (加工用)

は種作業は8月上旬収穫の早生作型、晩生作型について順調に進みました。出芽のばらつきも少なく、生育は平年並みに推移しました。早い作型の収穫は、8月中旬より始まりました。

病害虫は、7月下旬よりアブラムシが散見されました。また、収穫後の雌穂にはカメムシの食害痕が見られ、品質劣化が見られました。一部のほ場では連作による土壌病害である黒穂病の発生が確認されました。



写真2 黒穂病 (令和4年8月)

1 グリーンアスパラガス

融雪は順調で、収穫は例年どおり5月中旬から始まりました。5月上旬には一部地域で降雪があり、露地収穫物に軽度の傷・曲がりが発生しました。その後、風害による曲がりも見られましたが、5月の気温は平年より高く推移し好天にも恵まれ、出荷量は平年を上回りました。病害虫は、斑点病の発生は平年並みでしたが、8月上旬より降雨が多く茎枯病が発生しました。



写真3 茎枯病 (令和4年9月)

2 ブロッコリー

定植は平年並みの5月上旬から始まり、

定植後の適度な降雨により初期生育は順調に進みました。5月下旬からの低温で生育は一時停滞しましたが、6月中旬からの好天で生育は回復しました。8月下旬より平均気温が平年より低くなりほ場内で生育の不揃いが見られました。病害虫は、花蕾腐敗病の発生が一部見られました。ヨトウムシ、コナガの発生量は平年並みでした。

葉茎菜類

1 ゆりね

生育は順調に進み、適度な降雨により葉先枯れ症の発生は平年並みとなりました。収穫は9月下旬より始まり大玉傾向でしたが、りん茎さび症による品質の低下が見られました。病害虫は、葉先枯れ病の発生は平年より少なく、ユリエそ病の発生が一部で見られました。



写真4 ユリエそ病
(令和4年7月)

2 かぼちゃ(加工)

移植栽培では5月下旬からは種作業が始まり、定植は6月中旬より順調に進みました。直播栽培では6月上旬よりは種作業が始まりましたが、発芽にばらつきが見られ一部補植作業が発生しました。6月中旬以降の生育は順調に進みました。

が、7月中旬の降雨により一部着果不良が発生しました。着果数がやや少なくなりましたが、球肥大は順調に進み収穫量は前年並みとなりました。病害虫では、8月下旬からうどんこ病の発生が見られました。

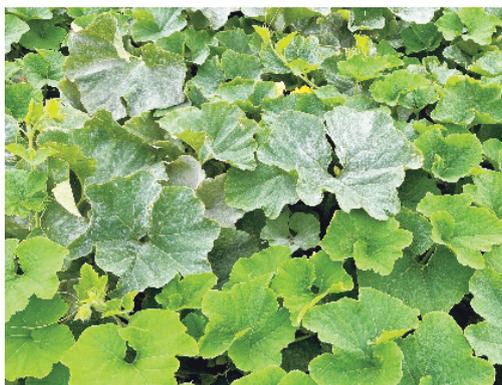


写真5 うどんこ病
(令和4年8月)

飼料作物

1 飼料用とうもろこし

(1) 生育経過と収穫作業の概要
 は種作業は順調に行われ、出芽期はほぼ平年並に推移しました。

網糸抽出期、黄熟期についてもほぼ平年並に推移しました。9月1日における草丈は、平年約280cmのところ、本年は約310cmで、やや長くなっています。9月には台風の影響もありましたが、倒伏も少なく、適期収穫が行われました(写真1)。

収穫作業は、ほぼ平年並に進みました。収穫始(5%)は9月16日、収穫期(40%)は10月1日、収穫終(90%)は10月8日となりました。

(50%)は10月1日、収穫終(90%)は10月8日となりました。



写真1 順調な生育で収穫作業が行われた
(令和4年10月上旬)

(2) 収量の概要

順調な生育で登熟も進み、黄熟後期での収穫が可能となりました。収量は平年よりやや多くなりました。

(3) 今後に向けて

肥料価格が高騰している中、堆肥・スラリー等を積極的に活用し、地力の維持増進を図ることが重要です。

2 牧草

(1) 1番草の生育と収穫作業

融雪がやや早かったことから、萌芽期はやや早まりました。その後、5月に適度な降雨があり、生育は順調に進み、出穂期は平年並に推移しました(写真2)。収穫時期の6月下旬は、やや多雨傾向で、収穫調整作業に影響がありました。収穫作業は、平年並に進みました。

収穫始(5%)は6月15日、収穫期(40%)は7月10日となりました。

(40~50%)は6月27日、収穫終(90%)は7月10日となりました。



写真2 チモシー1番草の出穂時期
(令和4年6月中旬)

(2) 2番草の生育と収穫作業

1番草刈取り後、適度な降雨があり2番草の再生は順調に進みました。収穫作業は、平年並に進みました。収穫始(5%)は8月25日、収穫期(40~50%)は9月5日、収穫終(90%)は9月17日となりました。

(3) 1番草・2番草の収量

1番草は、生育が順調で収量は、やや多くなりました。令和3年の高温少雨の影響により、生育が心配されましたが回復傾向となっています。2番草の収量は、平年並となりました。

(4) 今後に向けて

堆肥・スラリー等を積極的に活用し、地力の維持増進を図ることが重要です。また、安定生産を図るためにも、計画的な草地更新が必要です。

新年の
ご挨拶

時代の
変化にも
順応し
ながら

自分の考えや 悩みを打ち明ける 組織活動を大事に

青年部 部長

浦島 康平

康平



新年あけましておめでとござい
ます。
皆さまにおかれましては、穏やか
に新年をお迎えのこととお慶び申
上げます。

また、日頃より青年部活動に対し
まして、皆さまから多大なるご支
援・ご協力をいただいておりますこ
とを心より感謝申し上げます。

昨年の青年部活動を振り返ります
と、新型コロナウイルスの影響で活
動実施の判断などが難しい1年とな
りました。しかしながら食育事業、
どかんと農業まつり、青年部大会な
ど、少しずつではございますが青年
部活動を行うことができ、青年部員、
フレッシュユミセス会、JA職員など
の皆さまのご協力で実施できたもの
だと実感しています。

昨年の活動を振り返りますと、一
つ一つ思い出深いものばかりではご
ざいます。特に3年ほど行えなか
った食育事業の田植え体験・収穫体

験は、印象に残る活動となりました。
子どもたちに笑顔で積極的に参加し
てもらうことができ、有意義な時間
となりました。

さて、昨年の作柄は天候にも恵ま
れ、良好な1年だったと思います。
春先は晴れの日が多く、気温も高温
の日が少なく雨もほど良く降ったた
め、生育は順調でありました。

しかしながら、肥料・資材高騰な
ど農業経営が厳しい時代となりまし
た。また、天候に左右され自然の厳
しさによるダブルパンチを食らうこ
ともあります。ですが、私たちはそ
れに対応しなければなりません。土
壌診断、減肥、有機質肥料の活用な
ど積極的な対応が求められます。

そのためには、意見交換などで人
と人のつながりは不可欠。やはりそ
こには、青年部など自分の考え・悩
みを打ち明けることができる組織が
大事だと思っております。

年々青年部員は減少しており、後

継者不足・新規就農者の減少など、
理由は様々です。コロナ禍ではござ
いませぬが、私たちも美瑛の農業を
守るために協力し、さらに情報発信を
していかななくてはと考えています。

まだまだコロナ禍の終息まで時間
がかかるかもしれない、コロナはな
くならないかもしれない。それでも
私たちはコロナ対策をし、適応して
いかなければなりません。そのため
にも部員同士の交流を大事にし、交
流の場も柔軟に対応しながら設けて
青年部活動を進めていきたいと思
っております。

最後に、今年も変わらぬご支援・
ご指導をお願い申し上げますと
も、皆さまの今年1年のご健康とご
多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせ
ていただきます。
今年もどうぞよろしくお願
いいたします。

新しい時代における 活動のありかたを

女性部 部長

江花 恵

恵

新年あけましておめでとござい
ます。皆さまにおかれましては、健
やかに新年をお迎えのことと、心か
らお慶び申し上げます。また、日頃
より女性部活動に多大なご理解・ご
協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の農業を振り返りますと、一
昨年の干ばつとは打って変わって、
全体的に順調な推移となり、素晴ら
しい出来秋となりました。しかしな
がら、世界的なインフレや円安基調
が相まって、生産資材が高騰するな
ど、農業情勢はより一層厳しさを増

しています。
そのような中、女性部活動を振り
返りますと様々な活動を行うことが
できました。6月には、3年ぶりの
開催となった町外での全体研修を
実施しました。快晴の中、新鮮な海鮮
料理を楽しんだ後は、小樽の三角市

「今できること」を 考えて



フレッシュコミュニケーション協会会長
外山 詩緒理

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃よりフレッシュコミュニケーションに対して、多大なるご支援・ご理解・ご協力をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。

昨年はゲリラ豪雨に見舞われ、土砂流亡や湿害などの被害が多くありましたが、予想以上に収量があり、無事に作業を終え、こうして冬を迎えられたことが喜ばしく、また安心した気持ちです。

フレッシュコミュニケーションの活動といたしましては、昨年も新型コロナウイルス感染症の終息が依然として見通せず、様々な制限があり、なかなか思うように活動することはできませんでした。

しかしながら、数年振りに8月にはどかんと農業まつりが開催され、久しぶりに活気にあふれる活動をす

ることもできました。事前に行われた役員会議でも、あらゆる可能性を考慮し、できるかぎりの感染対策を練り、どかんと農業まつりの当日に活かしていったと思います。天候はいにくの雨模様でしたが、それでもまたこのような催し物が開かれ、たくさんの方々にご来場いただき、久しぶりに大鍋豚汁を販売できたことを嬉しく思います。

また11月には青年部と合同のミニバレー大会も開催されました。マスク越しではあったものの、爽やかな笑顔が会場に溢れ、白熱した試合も行われ、大いに盛り上がりました。

毎年女性部と合同で開催されている食育事業の調理実習は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から実施できませんでしたが、それでも少しずつではあります。感染対策をしっかり行い、フレッシュコミュニケーションの活動も取り戻していけたらと思いま

全体を通しますと、微々たる活動ではありますが、改めて交流を深めていくことの大切さを知り、またそれが何よりも今後に繋がる第一歩なのだということに気づかされました。まだまだ予断を許さない状況下ではあります。Withコロナの時代と捉え、私たちに「今できること」を考え、少しずつではありますがフレッシュコミュニケーションの活動も取り戻していけたらと思えます。

今後のフレッシュコミュニケーションの活動につきましても、今までと変わらず皆さまからの温かいご支援・ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、残りわずかな任期を役員一同、皆さまのお力をお借りしつつ努めてまいります。本年が皆さまにとって輝かしい一年になりますようお願い申し上げます。



場や堺町商店街を散策し、かま栄の工場直営店を見学しました。たくさんの方の皆さんと久しぶりの小旅行を楽しみることができました。

また、讃岐うどん専門店「丸亀製麺」による「手打ちうどん作り体験教室」も開催しました。全国に一人しかない麵職人の長「麵匠」から直々にうどん作りを教えていただき、とても貴重な体験となりました。自分たちで打ったうどんは少し不格好でしたが、もちもち・つるつるでと

てもおいしくできました。

10月に東川町で開催された上川管内女性部ブロック研修会では、旭川で活躍する声楽家西島厚氏によるオペラコンサートを鑑賞しました。迫力のある素晴らしい歌声を聴くことができ、芸術の秋を感じる楽しい時間を過ごしました。

令和5年においても、活動を進めるにあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努める必要があります。活動を制限される場面もある

と思いますが、新しい時代における活動のあり方を模索していきたいと思えます。

今後の女性部活動に対しても、変わらぬ皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、残された任期を役員一同、精一杯努めてまいりたいと思えます。

本年が皆さまにとりまして良い年になりますようお願い申し上げます。

明日を担う

美瑛町置杵牛中央

坂田 敬太さかた けいたさん（32歳）

青年部副部長



今回登場していただいたのは、青年部副部長の坂田さん。坂田さんは美瑛町で生まれ育ち、高校2年生の時に「農業をやる」と決意。進学先に別町の農業大学校を選択し、就農して13年目を迎えるようとしています。

好きだったことを 仕事にできた喜び

子どもの頃から手伝いで畑に出ていて、農業の仕事は嫌いじゃないと感じていました。でも、僕には兄がいて、昔ながらの感覚で「きつと兄が農業を継ぐのだろう」と思っていたので、自分は他に興味の持てる仕

事を探さなければと考えていました。僕が高校2年生の時に、兄が農業とは別の道に進むことを決めたため、「じゃあ、農業ができるんだ」と思い、就農を決意しました。当時、高校の校長先生の後押しもあって、進学先には農業大学校を選択しました。

徐々に作業を 任されることが増えた

現在は、家族で米14ha、秋まき小麦8.7ha、春まき小麦2.5ha、とまと450aを作っています。小麦は父が全て管理していますが、米やとまとは作業を任せてもらえることが増え、やりがいを感じています。地域での大豆の収穫にも参加させてもらい、いろいろと話を聞く中で、興味がわきました。今後、自分でも作付けできないか検討したいと考えています。

人に恵まれた 青年部活動

よく意外だと言われてしまいますが、実は人見知りをしてしまう方です。初めて参加した青年部・フレッシュユミセス会の合同運動会で、先輩方が解説で会場を盛り上げているのを見て、自分もああいう風になりたいと思いました。青年部に参加した



あぐりスクール in びえいでの田植え体験

当時は先輩に、現在は後輩に恵まれ、少しずつ人見知りも克服しつつあります。知り合いが増えると、それだけ色々な話が入ってくるので、

行事にも積極的に参加して、いろいろな人と話してみるようにしています。今はコロナ禍で、行事も実施できたり、そうでなかったりと様々で

すが、若い部員が毎年加入しているので、行事を実施できるときに、青年部の和やかで温かい雰囲気味わってほしいと思っています。今年実施できなかった行事も、今のアイデアを蓄積していつか使えるときに役立ててもらえれば嬉しいです。

子どもたちにもっと 農業に触れる機会を

青年部の活動の一環で、町内の小学生を対象に行う食育事業があります。現在は米がメインで、田植えや稲刈りを行っていますが、今後は米に限らず、もっといろいろな作物について教える機会が欲しいなと思っています。美瑛には畑作も畜産もある。それらも含めて農業であるからこそ、子どもたちに身近に感じてもらおう機会を提供できればと考えています。そして、その子どもたちが自分の将来を選択する時、農業に係る仕事を選択肢の一つに入っていると嬉しいなと思います。

美瑛小麦の良さを再認識 第48回集落代表者研修会

足腰の強い地域農業を作り上げるため、知識や情報の収集を。多数の集落・町内会代表者が出席する第48回集落代表者研修会が、今年も12月7日に農業センター3階大会議室にて開催され、多くの参加者が集まりました。

当日は、37名の集落代表者のほか、当JA役員・管理職も出席。また、来賓として角和美瑛町長と上川農業改良普及センター大雪支所の鹿野支所長も駆け付け、それぞれ挨拶をいただきました。

講師には、江別製粉株式会社の常務取締役である山口小百合氏を迎え、「製粉会社から見た美瑛小麦の特性」と題した講演を実施。美瑛では、実需に沿った品種の比率で「きたほなみ」「ゆめちから」「春よ恋」の3種類の小麦が栽培されていること、道内の他産地と比べてどの品種でも高たんぱくな小麦が生産されていることなど、美瑛小麦を使う立場から見た特徴を紹介。また、パンにした時の特徴も他産地の小麦との比較でわかりやすく表現され、「美瑛小麦やっぱり素敵！」と締めくくられた

講演に、出席した集落代表者の皆さんが時折頷く姿も見られました。終了後は、出席した集落代表者の皆さんに粗品として美瑛のおいもすしお味1箱を贈呈。また、JAからの月めくりカレンダーとポケット手帳も合わせて配布し、これらは集落代表者を通して各戸に配布されました。

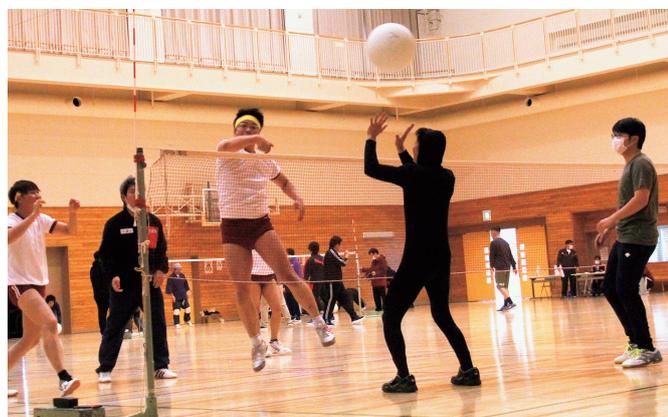


美瑛小麦の特性を改めて知る

3年ぶりの熱狂！ 青年部・Fミセス会 ミニバレー大会

冬のスポーツの祭典が、3年ぶりに復活。青年部・フレッシュミセス会ミニバレー大会が、11月25日にスポーツセンターで開催されました。

当日は、バレー・ミニバレーの経験者によるプレミアリーグに4チーム、未経験者によるエンジョイリーグに5チームが参加。アタックNo.1のコスプレや全身黒タイツでの参加者もいて、終始笑いの絶えない大会となりました。



華麗にアタック！

酪農振興部会が 家族研修会を開催

厳しい情勢を乗り越えるため、知識を深める。酪農振興部会の家族研修会が、11月25日に開催されました。

当日は、部会員と関係機関からの参加者合わせて18名が出席。㈱COWOXの代表取締役川上太郎氏を講師に迎え、「この飼料高騰を乗り越える経営戦略」と題した講演が行われました。

参加した部会員からは、「長い間家族研修会も開催できていなかったの、3年ぶりに実施できてよかった」という声がありました。



参加者が真剣に聞き入る



体を思いきり伸ばして！

本格的な冬の訪れとともに、女性の活動も活発化。12月1日には、女性部スポーツサークルによるヨガ教室が開催され、12名の部員が参加しました。
 深く呼吸をしながら、ゆつくりと体を伸ばすヨガの動きで、参加した部員の皆さんは真剣な表情に。どうしても運動不足になりがちな冬に、体を動かす嬉しい研修となりました。

女性部
 スポーツサークルが
 ヨガ教室開催



お気に入りになること間違いなし

今年7月に新星地区にオープンした藍染結の杜にて、12月8日に女性部文化サークルが藍染め体験を行いました。
 当日は、11名の部員が出席。巾着やストール、Tシャツなど、各自事前に選択した小物を、思い思いの色や模様で染色。染色液に浸してすぐは緑色だった生地が、空気に触れてだんだんと藍色になっていくと、参加した部員から歓声が上がりました。

伝統に触れる
 女性部文化サークルが
 藍染め体験

2022年度 新農業人

氏名	氏名
サ トウ シン ヤ 佐 藤 真 也	サ サ キ ナミ ト 佐々木 波 斗
フル カワ シ オン 古 川 紫 音	イワ オリ マサ ミ 岩 織 雅 美
モト ヤマ ユ カ リ 本 山 由果理	セキ グチ タダシ 関 口 真
フク モト リュウ ト 福 本 龍 都	

今後の美瑛町農業の発展を担う若い力に期待。第59回新農業人激励のつどいが12月9日に開催され、5名の新農業人が出席しました。
 当日は、角和美瑛町長を始めとした多くの来賓が、新農業人の激励のため駆け付けました。激励の言葉を述べた当JA真田専務は、「皆さんの隣には、JAがある。いつでも相談に来てほしい」と新農業人の皆さんに力強い言葉をかけました。今年の新農業人は、次の7名の皆さんです。

活躍を祈って
 新農業人激励の
 集い開催



参加者多数の研修会

いよいよ来年10月に迫ったインボイス制度の導入を前に、研修会を。消費税のインボイス制度開始に関する研修会が12月19日に開催され、多数の組合員が参加しました。
 当日は、旭川東税務署の岩井貞憲個人課税第1部門統括国税調査官を講師として、制度の概要から、制度導入までに取るべき具体的な行動まで、詳しく解説されました。

制度開始に備えて
 インボイス制度の
 研修会開催

人生100年時代

アクティブシニアになるための

花咲く長寿食

シニアが時代をリードする面白い世の中になってきました。政治、経済はもちろん、景気、ファッション、グルメ、テレビの人気をリードするのは、今や元気な老人パワー。「アクティブ(活動的)新老人」の時代が幕開けしたのです。花咲けるおじさま、おばさまの時代。中年の次が老年で、老年の次が大老人。大老人は90歳以上のアクティブシニアといつてよいでしょう。

大老人たちの元気のもとが、食べ物であるのはい言までもありません。アクティブシニアになるための「花咲く長寿食」をご紹介します。



若さと美しさと大豆

花咲ける大老人となって100歳人生を「ワッハッハ」と楽しむためには、今日からその準備を開始すべきです。

長寿効果の高い食に気を配り、ストレスをためずによく笑い、とことこと歩くこと。中でも重要なのは、毎日口にする食事です。近年、日本人が直面している筋力不足を補うタンパク質としても大豆タンパクは理想的。国産大豆の場合、約35%がタンパク質なのです。

体の筋肉量が十分でないと、免疫力も下がり、高齢になったときの体力が低下して虚弱体質に陥りやすくなってしまいます。大豆に多いイソフラボンは女性ホルモンに似た働きで、女性の若さや美しさを保ってくれます。



監修・イラスト

食文化史研究家
日本の長寿食研究家
イラストレーター
永山久夫

1932(昭和7)年生まれで現在90歳。NHK『チコちゃんに叱られる!』や『突撃!カネオくん』など多くのテレビ番組に出演。現在、徳川家康の長寿法についての本を執筆中。テレビでも講演でもよく笑う。

ご飯こそ日本の長寿食

日本は「長寿のお国」として世界の憧れですが、米の力がなかったらこれほど長生きできたでしょうか。米に組み合わせてきた大豆、魚、野菜、海藻、山菜、キノコ、お茶などがことごとく健康食なのです。

日本人は米を縄文時代から現在まで約3000年も食べ続け、ついには世界トップクラスの長寿民族になりました。

米は炭水化物の塊と思われがちですが、タンパク質やビタミンB類、ビタミンE、カリウム、マグネシウム、亜鉛、食物繊維などを含むマルチフードなのです。むしろ現代人の脂質の取り過ぎを抑える上で役に立っています。ご飯を食べると食物繊維に似た効果で整腸作用を高める点にも注目。



ごまみそで超元気

ごまのみそをベースにした「なめみそ」は、古代から長寿食として公家や僧家、それに武士の間で珍重されてきました。

米飯によく合うため、特に武士にとっては戦闘力を高める兵糧としても貴重であり、携帯食としてよく用いられていました。

ごまにもみそにも必須アミノ酸のトリプトファンが多い点が注目されます。トリプトファンは幸せホルモンと呼ばれるセロトニンの原料で、ストレスに負けない力となります。暗い気持ちが去り、いつもニコニコ顔になりますから、異性にもよく好かれ、好感度も高くなって人気者に。ビタミンB1も多いですから、多少無理しても疲れません。ウイルス感染を防ぐミネラルの亜鉛も含まれています。



トマトは

赤い長寿食

「トマトのある家に病人なし」。これは欧州に古くから伝わることわざ。確かにトマトにはビタミンや特殊成分など、健康強化に役立つ成分がたっぷり。

トマトに豊富なビタミンCは、体内でコレステロールの生成に役立ち、血管をしなやかに保って、血栓の発生を防いでくれます。ウイルスなどに対する免疫力を高め、風邪を防ぐ働きもしています。

トマトの赤い色素のリコピンには強い抗酸化作用があり、体細胞の老化を防いで、長寿力を高めます。トマトにはペクチンやセルロースなどの食物繊維も多く、腸内環境を良くしてくれますから、お通じも良くなり、気分もルンルンと爽快になり、「ワッハッハ」と笑いも出ます。



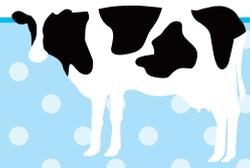
サケを食べて 免疫力強化

肉質の赤いサケは立派な不老長寿食で、もっともっと注目されても良いでしょう。肉質の赤さから他の魚とは違った神聖でおめでたい魚と考えられ、東日本を中心にお正月には欠かせません。

赤い色には、厄よけの効果があるとか、幸運を呼び込むパワーがあると信じられてきました。この赤い色素はアスタキサンチンという抗酸化成分で、老化防止や免疫力の強化、美肌効果、がんの予防などに期待されています。

サケの脂質にはDHA（ドコサヘキサエン酸）が多く、頭脳力を高めて記憶力の衰えを防ぐ働きがあり、同じくEPA（エイコサペンタエン酸）も含まれていて、こちらは血液をサラサラにする効果で注目されています。





牛乳をもっと食卓に
**おいしい
 ミルクレシピ**

基本のだしにお好きな具材でオリジナル雑煮に
新年を祝う牛乳雑煮



材料(2人分)

◆基本のだし

- 水 ……………120ml
- かつお節(削り節) ……………5g
- 牛乳 ……………180ml
- 西京みそ ……………大さじ2
- 丸餅 ……………4個
- ニンジン ……………1/5本
- ダイコン ……………2cm
- ホウレンソウ ……………30g
- ユズの皮 ……………適宜

出典●一般社団法人Jミルク「乳和食サイト」
 レシピ●料理家・管理栄養士 小山浩子さん

作り方

- ① ニンジン、ダイコンは花形に切り、だし(材料外)で下ゆでしておく。ホウレンソウはサッとゆでて5cmの長さに切る。丸餅はゆでておき、かつお節はお茶パックに入れておく。
- ② 鍋に分量の水でお湯を沸かし、①のかつお節を入れて濃いだしを取る。かつお節を取り出し、牛乳を入れて温めたら西京みそを加えて溶く。
- ③ わんに①のゆでた餅、ニンジン、ダイコン、ホウレンソウを盛る。
- ④ ③に②を注ぎ、丸く切ったユズの皮を添える。

★ 1月のあなたの運勢 ★ 監修/モナ・カサンドラ ★ ♈♉♊♋♌♍♎♏♐♑♒♓♊♋♌♍♎♏♐♑♒♓

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】 気持ちを引き締め丁寧な所作を心がけて。高めの目標設定が良い運氣と呼び込みます。あいさつ回りと宴席にツキ
 【健康運】 楽しみながらできる運動がお勧めです
 【幸運の食べ物】 シュンギク

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】 早めのスタートが勢いに乗るこつ。予定は前倒しで進めましょう。伝統文化に触れる機会を大切に。和服も◎
 【健康運】 腹も身の内。バランスの良い食事で安泰
 【幸運の食べ物】 もやし

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】 礼儀正しい態度で好感度が上昇。やりたいことがあるときほど周囲の話をよく聞いて。協力者が現れる予感です
 【健康運】 頑張り過ぎてバテないようペース配分を重視して
 【幸運の食べ物】 ブロッコリー

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】 あれこれ言われてキャパオーバーになりがち。全部やろうと思わないで。状況整理から入ると良い案が浮かびます
 【健康運】 血行促進を心がけて。頭の体操も大切です
 【幸運の食べ物】 芽キャベツ

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】 運勢は活気づき活躍の場が増えていきます。フットワーク良く動けるよう身軽な状態にしておきましょう
 【健康運】 食物繊維が多めの食事を心がけて。腸活にツキ
 【幸運の食べ物】 カレイ

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】 初心に返り謙虚に、着実に動いていきましょう。大きな実りが期待できます。うれしいニュースを届けてくれる人も
 【健康運】 食事は彩りが大切。おいしく食べて元気倍増
 【幸運の食べ物】 ハクサイ

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】 時間調整の難しいとき。1人で動いた方がストレスは少なそう。共同作業が必要なことは丁寧に説明を
 【健康運】 乾燥を防いで風邪を予防。スキンケアにも効果あり
 【幸運の食べ物】 山芋

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】 情報収集に力を入れて。問題解決に近づきます。いつもの作業にも新たな気付きがありそう。清掃や洗濯にツキ
 【健康運】 デトックス効果のある食材で元気を回復
 【幸運の食べ物】 野沢菜

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】 ピンチをチャンスに変える力強さがあります。状況は厳しくても諦めないで。反対意見に耳を傾けると逆転へ
 【健康運】 適度な運動が大切。何事もやり過ぎないで
 【幸運の食べ物】 ミカン

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】 勢いのある好調運ですが独り善がりにならないように。周りの人のことを思って行動すると好結果に。金運も良好
 【健康運】 ゆったりティータイムで心の疲労も改善
 【幸運の食べ物】 ホウレンソウ

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】 上昇運です。周囲が協力してくれ良い方向に進みます。1人で悩まずに相談を。良い知恵も貸してもらえるはず
 【健康運】 手足を冷やさないよう、しっかり保温を
 【幸運の食べ物】 レンコン

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】 自分の意見を少し譲ると思っていた以上にスムーズに進みます。予定や計画も実行しやすい手を加えてみて
 【健康運】 ホットミルクでカルシウムを補給して
 【幸運の食べ物】 イカ

- ① 正月に飲む薬酒。お——気分がなかなか抜けない
- ② 髪の毛の渦巻き
- ③ エッフェル塔がある都市
- ⑤ 練り物やダイコンを煮込んで作ります
- ⑥ 自分より後に生まれた人はみんなこれ
- ⑧ 食事の管理や指導を行います
- ⑪ 昨年はナスの——がとても良かった
- ⑫ 太鼓や木琴やトリアングルなどのこと
- ⑬ 毛筆でしたためることも
- ⑮ 大学入学共通テストは国立大学だけでなく——大学も利用しています
- ⑯ 計画のこと。お得な宿泊——京都・三十三間堂の通し矢で新成人が引きます
- ⑳ 一——、二タカ、三ナスビ

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7		12	14	17	21
2				15		
3			13			
	8	10			18	
4		11			19	22
5	9			16		
6						20

タテのカギ

- ① 初詣で、受験を控える子の難関——を祈願した
- ④ 2つで1組の——茶わん
- ⑦ 客のためにワインを選びます
- ⑨ 師匠の下で学びます
- ⑩ 親から子へ受け継がれます
- ⑬ ——・中期・末期の熟語
- ⑭ 年賀状によく書かれる2文字
- ⑰ 湖に張った氷に穴を開けて楽しむことでもあります
- ⑱ 登山やキャンプで使う寝袋
- ⑳ コンコンと鳴く動物
- ㉒ 警察は原則として——不介入です

こたえ・当選者

1	フ	ラ	イ	ド	チ	キ	ン
2	ユ	ー	ロ		ヨ	シ	
3	ヤ	ド		11	サ	キ	ヨ
	ス		10	オ	ソ	ン	ヨ
4	ミ	7	オ	ク	リ		ク
		8	ク	レ		14	マ
5	ナ	ビ	ゲ	ー	シ	ヨ	ン

☆先月号のこたえは『ユキアンビ』でした

☆当選者は
寺林 律子さん
河村 五月美さん
道藤 信代さん
石崎 蓮翔さん
中澤 明美さん
おめでとーんになります。

※応募の際にご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見ご感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分(全農)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】
● ハガキ

ハガキは63円です

おもて
63 〒071-0298
美瑛町
中町2丁目6-32
JAびえい「丘の大地」
クイズ係

① クイズの答え
② 今月号の良かった内容
③ 取り上げて欲しい内容
④ その他ご意見ご感想など
⑤ 住所・氏名・年齢・電話番号

● FAX 0166-92-2977
● Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp
【締め切り・発表】
毎月15日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。



file.13 販売部所属14年!



販売部青果課
うちだ たつや
内田 達也

出身地

美瑛町

好きな食べ物

ビール、鳥小肉、豆板醤

最近のマイブーム

夏場は外で焼肉、冬場は子どもとスキー場に行き、スノーボードに乗るのを楽しみにしています。あと、子どもたちと喧嘩すること。

組合員の皆さんへ

新年あけましておめでとうございます！入組して14年ずっと販売部に所属しています。特に馬鈴薯では通算10年と長期にわたって担当していますので、この信頼と実績で、組合員の皆さんにもいろいろご相談いただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします！

次回は……共済部共済課の佐藤要さんをご紹介します！

免税軽油・農業労災保険の 受付をいたします

農業機械課では、令和5年度免税軽油申請と、農業労災加入および継続申請手続きを行います。

■申請手続き

【持ち物】

免税軽油…印鑑、機械の追加がある場合は標識交付証明書、機械の写真、土地の売買、賃貸が新たに発生する場合は、協議書、もしくは耕作証明書といった面積が明記された書類

農業労災…労働保険料算定基礎賃金等の報告書

■日 程 **1月16日(月)～1月23日(月)**
 9:00～15:00まで

■場 所 研修センター研修室

※免税軽油については後日詳細をFAXにてお送りさせていただきます。

※毎年、多くの農作業事故が発生しております。未加入の方はこの機会にぜひ農業労災に加入しましょう。

窓 □ 研修センター ☎92-0588

JAびえいからの
 お知らせ

JA Biei Information

農業青年向けイベント [Feeling Chance in びえい ゆきの丘] 参加者募集!

冬のFeeling Chanceを2月4日(土)、5日(日)に開催します。スノーアクティビティや青い池ライトアップ見学、懇親会など親睦を深める内容が盛りだくさん! 独身農業者の皆さん、女性参加者との新たな出会いを見つけに参加してみませんか?

- ◆対 象：概ね35歳までの町内の独身農業者
- ◆参加費用：5,000円
- ◆申込方法：営農部または農業委員会へお問い合わせください。詳細のご説明や申込書をお渡しします。
- ◆申込締切：**1月16日(月)**

窓 □ 営農部 ☎68-7014
 または 農業委員会 ☎92-4242

1月のパソコン講習会について

◆日 程◆

種 類	月 日	時 間	内 容	講 師	場 所
ソリマチ簿記 (パソコン)	1月13日(金)、16日(月) 18日(水)、20日(金) 23日(月)、25日(水) 27日(金)、30日(月)	① 9:00～11:00 ② 13:00～15:00	・ソリマチ簿記の使い方や 勘定科目の設定など ・次年度更新の行い方 ・クミカンデータの転送仕方	青申会	JA3階 中会議室

◆持参するもの◆

自分のパソコンで講習を受けたい方⇒**本体を持参してください**

ソリマチ簿記を受講希望の方⇒**伝票入力の実習も行いたい場合は、今年のクミカン報告書と減価償却資産台帳を持参してください。**

※受講される方は新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、マスクの着用と手指の消毒、検温をお願いいたします

窓 □ 営農支援課 ☎68-7014

公金受取口座登録制度のご案内

給付金の申請手続きが簡単になる、公金受取口座登録制度をご存知でしょうか。

事前に給付金の受取口座を登録しておくことで、給付金申請手続きの簡略化ができます。

詳細につきましては、金融店舗までお問い合わせください。

給付金のお受取りが
すばやく
カンタン

になる制度、
知ってる？

公金受取口座
登録制度

公金受取口座登録制度とは、どんな制度？

● 給付金を受け取る口座を登録できる制度です。

● 給付金の申請手続きが簡単になります。

窓口 金融店舗 ☎92-4325

JA共済からのお知らせ

JA共済事故受付センター
24時間365日受付



事故のときには

0120-258-931

JA共済サポートセンター
24時間365日受付



レッカー移動や故障時の
応急対応が必要なときは

0120-063-931

- ・雪に埋まって動けなくなった…
 - ・エンジンがかからない…
- などの時にはJA共済サポートセンターまでお問い合わせください。

◆おすすめしたい特約のご紹介

車両諸費用保障特約

ご契約のお車に発生した損害に伴って生じた代車費用（レンタカー代）、宿泊費や交通費等をお支払いいたします。

詳しくは、共済店舗までお問い合わせください。

窓口 共済店舗 ☎68-7017

JAへ就職希望者100%就職（令和3年度実績）

令和5年度学生2次募集

- 募集人員15名程度（定員60名）
- 男女共学
- 1力年、全寮制
- 大学卒および見込、短大・専門学校卒および見込、高校卒および見込
- 満24歳未満（令和4年4月1日現在）
- 試験日：令和5年2月4日（土）
- 願書受付：令和5年1月6日（金）～1月25日（水） 消印有効
- 学校見学もできます

お問合せ
資料請求

JAグループ
職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 【JAカレッジ】で検索

年末年始のJA業務時間のご案内

	29日(木)	30日(金)	31日(土)	1月1日(日) ～2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)
金融店舗窓口	9:00～16:00			休業			9:00～16:00	
ATM	ホクレンショップ	9:00～18:00	9:00～17:00	休業			9:00～18:00	
	金融店舗	8:45～17:00		休業			8:45～17:00	
	セブン銀行他※	8:00～22:00		8:00～21:00			8:00～22:00	
共済店舗窓口	8:30～16:00	8:30～12:00		休業				8:30～16:00
給油所	北町	休業	9:00～17:30	休業		9:00～17:30	休業	9:00～17:30
	大町セルフ	7:00～20:00		休業		7:00～20:00		
上記以外の部門	8:30～17:00	8:30～12:00		休業				8:30～17:00

※セブン銀行・ローソン銀行・イーネットATMについてはご利用日・ご利用時間によって手数料が変わります。また、稼働時間もATMによって異なります。詳しくはご利用のATMの掲示等でご確認ください。

※給油所については、休業日前の給油にご協力をお願いいたします。

【年始休業中の緊急対応】

項目	連絡先
JA共済事故受付センター	0120-258-931
灯油・プロパン・重油	92-2157

窓口 総務部 ☎92-2111

